

共創・MaaS 実証プロジェクト 「モビリティ人材育成事業」への応募について

1. 共創・MaaS 実証プロジェクト モビリティ人材育成事業の概要

共創・MaaS 実証プロジェクトは、交通を地域のくらしと一体として捉え、地域の多様な関係者が連携・協働した取組を通じて、地域交通の維持・活性化を図る事業を国土交通省が支援するもので、①共創モデル実証運行事業、②モビリティ人材育成事業、③日本版 MaaS 推進・支援事業の3つの事業があります。

「モビリティ人材育成事業」は、交通に関する知見、交通に関するデータ活用のノウハウ、多様な関係者とのコーディネートを進めるスキルのいずれかを活用しながら、地域の交通が目指すべき姿の実現に向けて、主体的かつ継続的に取り組む人材を育成する事業に要する経費が支援（定額、上限3千万円）されます。

2. モビリティ人材育成事業への応募内容

（1）事業名

豊能町における共創による地域課題解決型モビリティ人材育成プログラム

（2）事業実施体制

①事業主体

池田泉州エリアサポート株式会社

②構成員

豊能町、能勢電鉄株式会社、阪急バス株式会社

（3）事業の概要

学生から子育て世代、高齢者までの多様な移動ニーズや課題を整理し、地域住民が「自分ごと」として交通サービスの維持・改善に参加できる体制の構築を目指し、講義やワークショップを通じて、現状把握や各種情報共有を図り、「交通に関する知見」の習得ならびに多様な関係者と接することによる「コーディネートスキル」の向上を図ります。

豊能町で活動する NPO、観光事業者、福祉関係者、教育関係者など多様なまちづくりに関わるステークホルダーを対象にワークショップを開催します。ヒアリング内容や交通データを活用しながら①「豊能町の現状について理解」（交通事業者・住民・事業者・自治体が抱える課題）を深め、そのうえで、有識者を招き、②「豊能町の将来像をイメージする」（このままいくと○年後はこうなる。）、③「豊能町のあるべき姿/今やるべきこと」を考えます。